



## 元気っ子

No 307 ながさわ保育園

園長 中瀬 弦 偉

令和4年度もいよいよ最後の月となりました。らいおん組はいよいよ卒園になりますが、最後まで子どもたちと全力で楽しい日々を過ごしていこうと思います。

さて、先月はお忙しい中、生活発表会にご参加頂きましてありがとうございました。子どもたちは日々の保育を通して培った成果を存分に発揮してくれたと思います。どの演目も本当に感動しました。そして子どもたちは、生活発表会という一つの節目を迎えて、さらに大きく成長した姿を見せてくれたと思います。どの子も「たくさん誉めてもらえた」と満足そうに教えてくれました。保護者の皆様、ご協力頂きましてありがとうございました。

ながさわ保育園では異年齢児集団保育が母体となっていますが、生活発表会につきましては年齢別で開催させて頂きました。その理由ですが、異年齢児集団保育というものは、あくまでも発達を促す保育方法の一つだからです。その保育方法を通して得られた発達の結果をお伝えする場が行事ですので、これは発達の近い子ども集団、つまり年齢別の演目の方が切り口として見えやすくなるからです。今回の舞台を通して、お子さんの現在地、また、先の見通しなどを感じて頂ければ幸いです。

最近、以上児の主活動の選択肢のひとつを私が受け持つことがあります。内容は一任されるのですが、活動内容を定めるうえで私が意識しているのは、

①子どもがワクワクしそうなこと。

②その活動によって子どものどのような発達を促すかを明確にすること。

の二つです。先月は二回ほど「こどもかいぎ」を行いました。子どもたちは「かいぎ」という少し「大人びた」響きと「思っていることを自由に話していいというルール」にワクワクしてくれたと思います。また、この活動を通して子どもたちには「自分の思いを言葉で相手に伝える」とことと「人の話に最後まで静かに耳を傾ける」ということの大切さを知って欲しいというねらいがありました。(ルールとして最初に子どもたちに伝えました)

他にも、この原稿を書いている今日のことですが、「春探し散歩」というものも行いました。季節感という感覚的な部分の発達を促す環境を用意させてもらったのですが、見事に子どもたちらしい春をたくさん見つけてくれました。こういった活動ができるのは、園周辺の豊かな自然環境、また地域の方々の優しさがあってこそだと思います。本当にありがたいことだと思います。

最後になりますが、保護者の皆様におかれましては、令和4年度も様々なご協力のお願いにご理解ご協力を賜りまして、本当にありがとうございました。令和5年度につきましても、ひたむきに「子どもの最善の利益」を追求しながら、保育の質の向上ならびに保育環境の充実を目指して参りたいと思います。何卒ご指導、ご支援のほどよろしくお願い致します。

